Cisco IOS IPSでのSecurity Managerの設定

内容

概要

Cisco Security ManagerはCisco Security Management Suiteの一部であり、Cisco Self-Defending Networkの包括的なポリシー管理と適用を提供します。Cisco Security Managerは、セキュリティを管理するための業界をリードするエンタープライズクラスのアプリケーションです。Cisco Security Managerは、シスコルータ、セキュリティアプライアンス、およびセキュリティサービスモジュール全体にわたるファイアウォール、VPN、および侵入防御システム(IPS)セキュリティサービスの構成管理に対応します。

Cisco Security Managerの機能と利点、およびバージョン3.1の新機能の概要については、Cisco Security Manager 3.1データシート (http://www.cisco.com/en/US/prod/collateral/vpndevc/ps5739/ps6498/product_data_sheet0900aecd8062bf6e.html)を参照してくださいい。Cisco Security Manager 3.1は、Cisco.comの http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/csm-app （登録ユーザ専用）からダウンロードできます。

このドキュメントでは、IOS IPSの初期設定を実行するためにCisco Security Manager(CSM)3.1を使用する方法について説明します。IOS IPSがすでに設定されているルータでは、プロビジョニングタスクにCisco Security Manager 3.1を直接使用できます。

注：Cisco Security Manager 3.1は、IOS IPSを設定するためにIOS 12.4(11)T2以降のIOSイメージのみをサポートします。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Security Manager 3.1
- Cisco IOS 12.4(11)T2

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

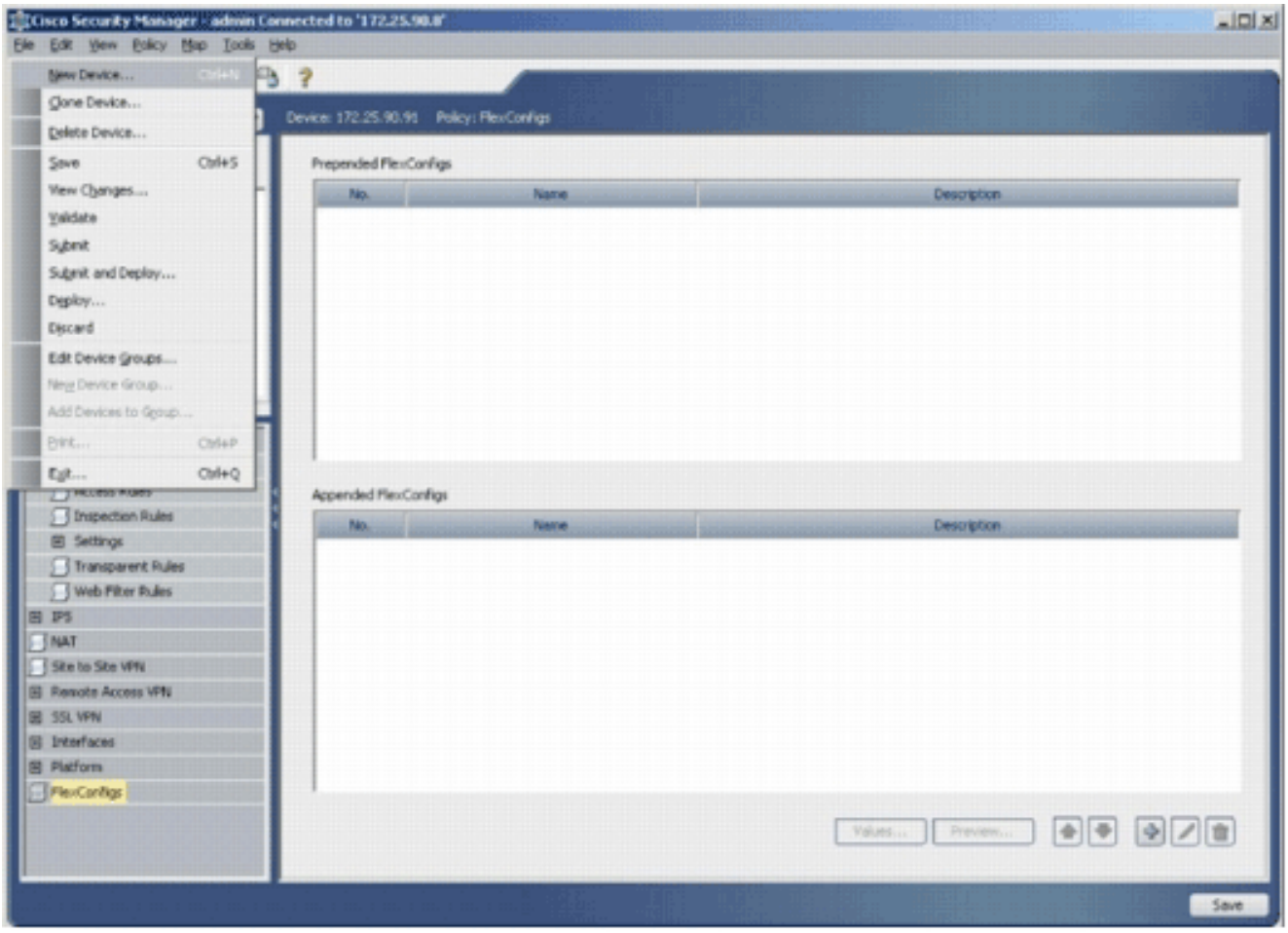
表記法

ドキュメント表記の詳細については、『シスコ テクニカル ティップスの表記法』を参照してください。

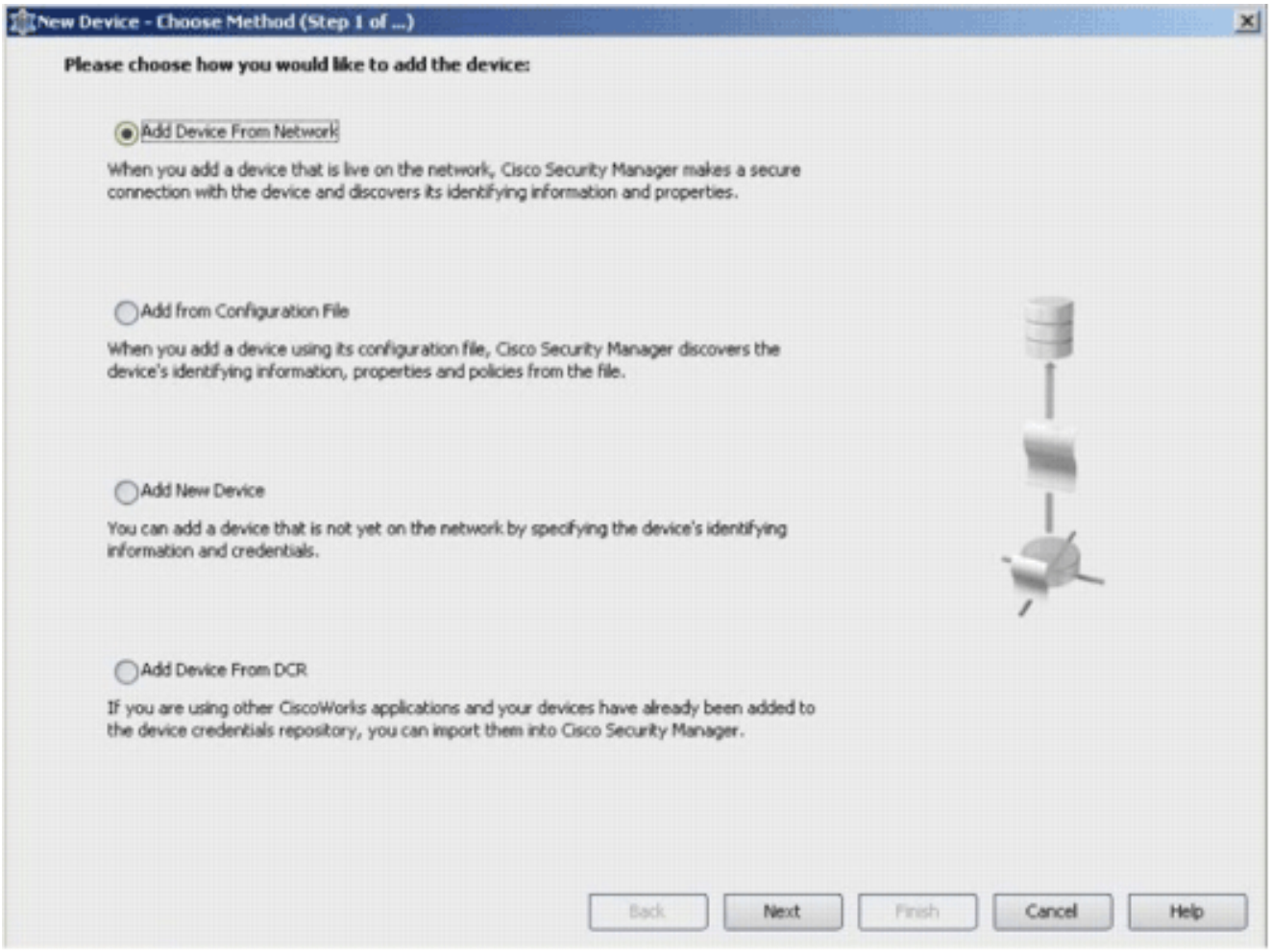
設定

IOS IPSを設定するには、次の手順を実行します。

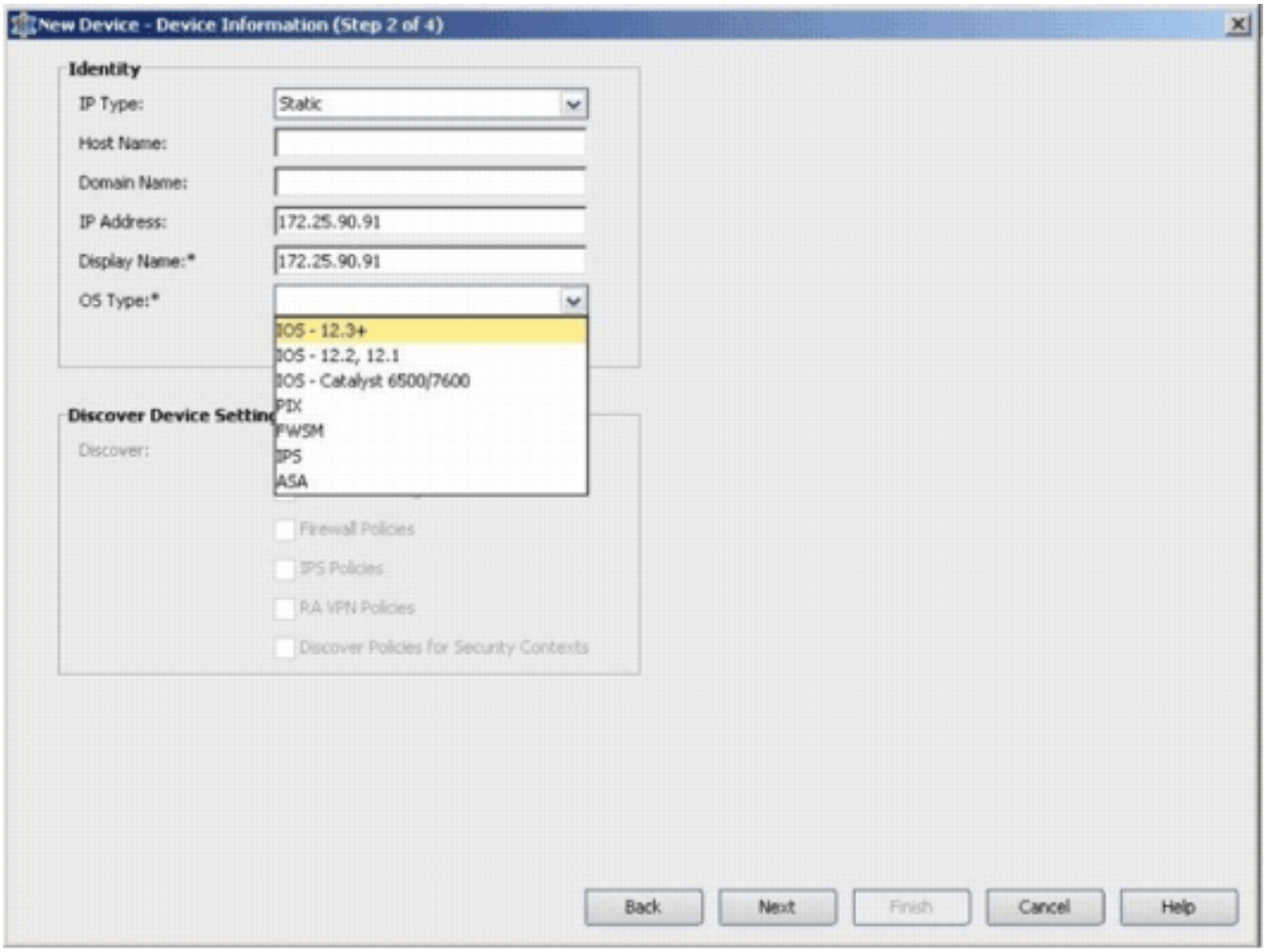
1. ローカルPCからCisco Security Manager 3.1クライアントを実行します。
2. Cisco Security Manager 3.1にデバイスを追加するには、[File]メニューから[New Device]を選択します。



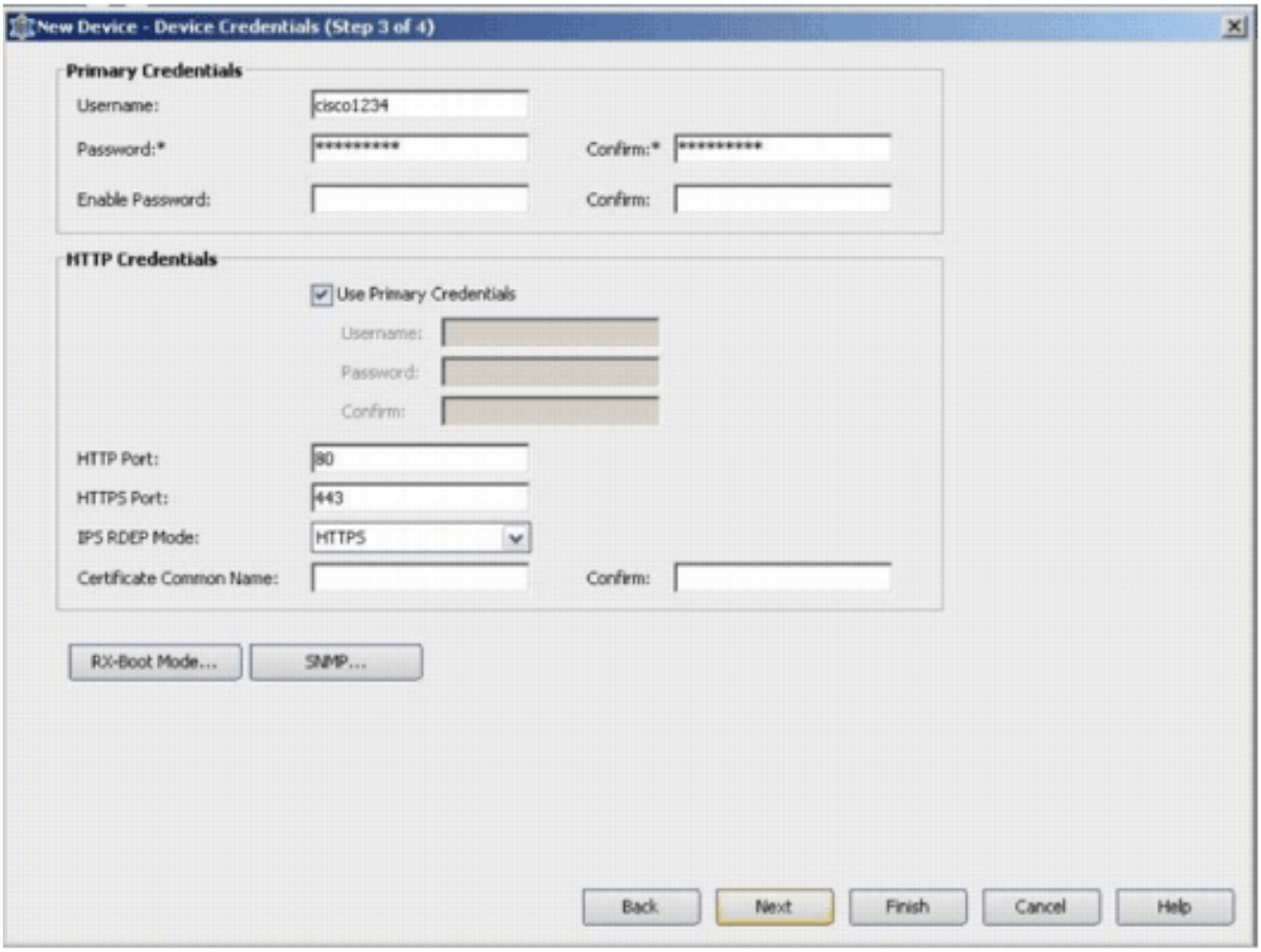
3. [New Device]ウィンドウで、デバイスの追加方法を選択します。この例では、ネットワークからデバイスを追加します。



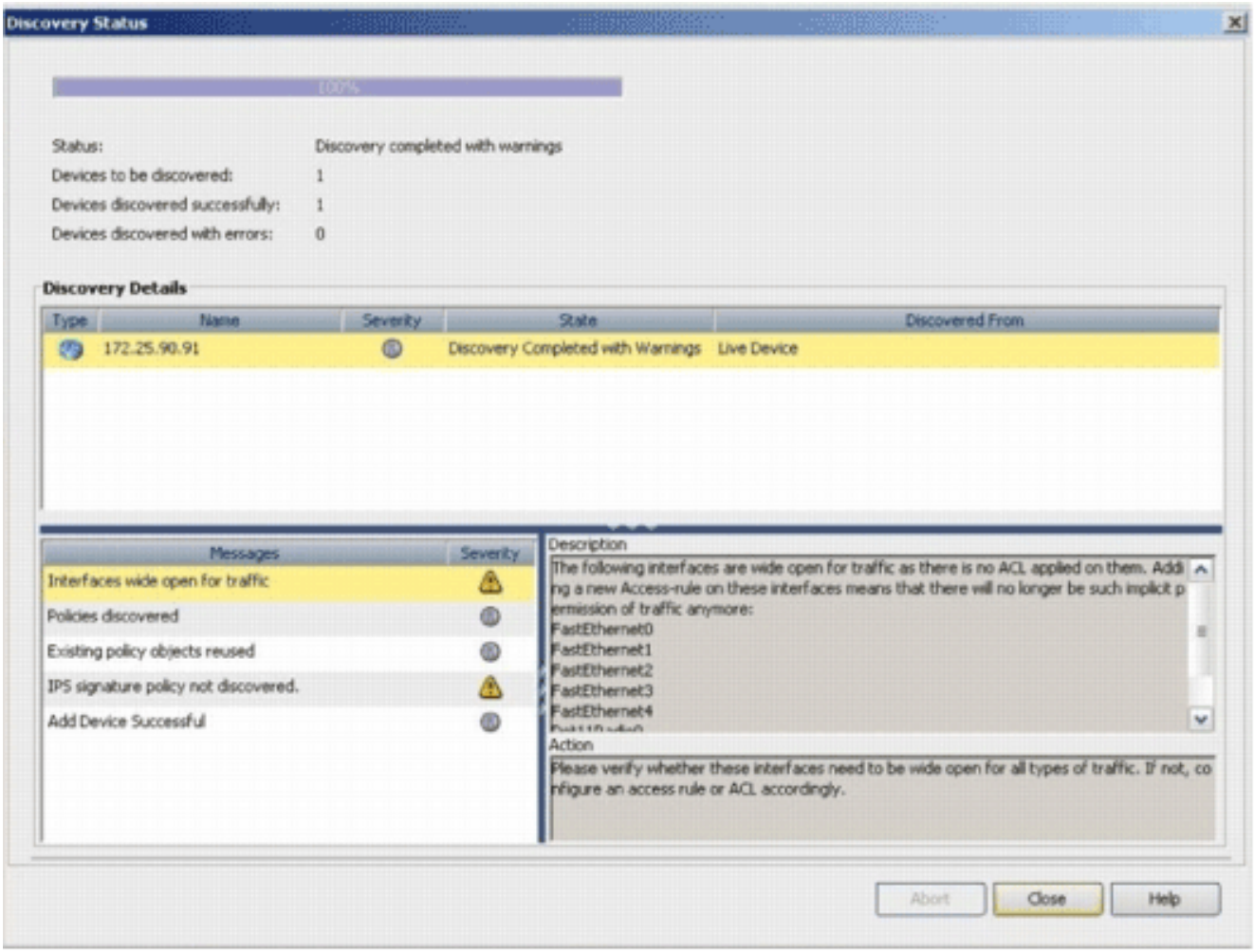
4. [next] をクリックします。
5. 追加するデバイスのIDの詳細を入力します。たとえば、ホスト名とIPアドレスです。



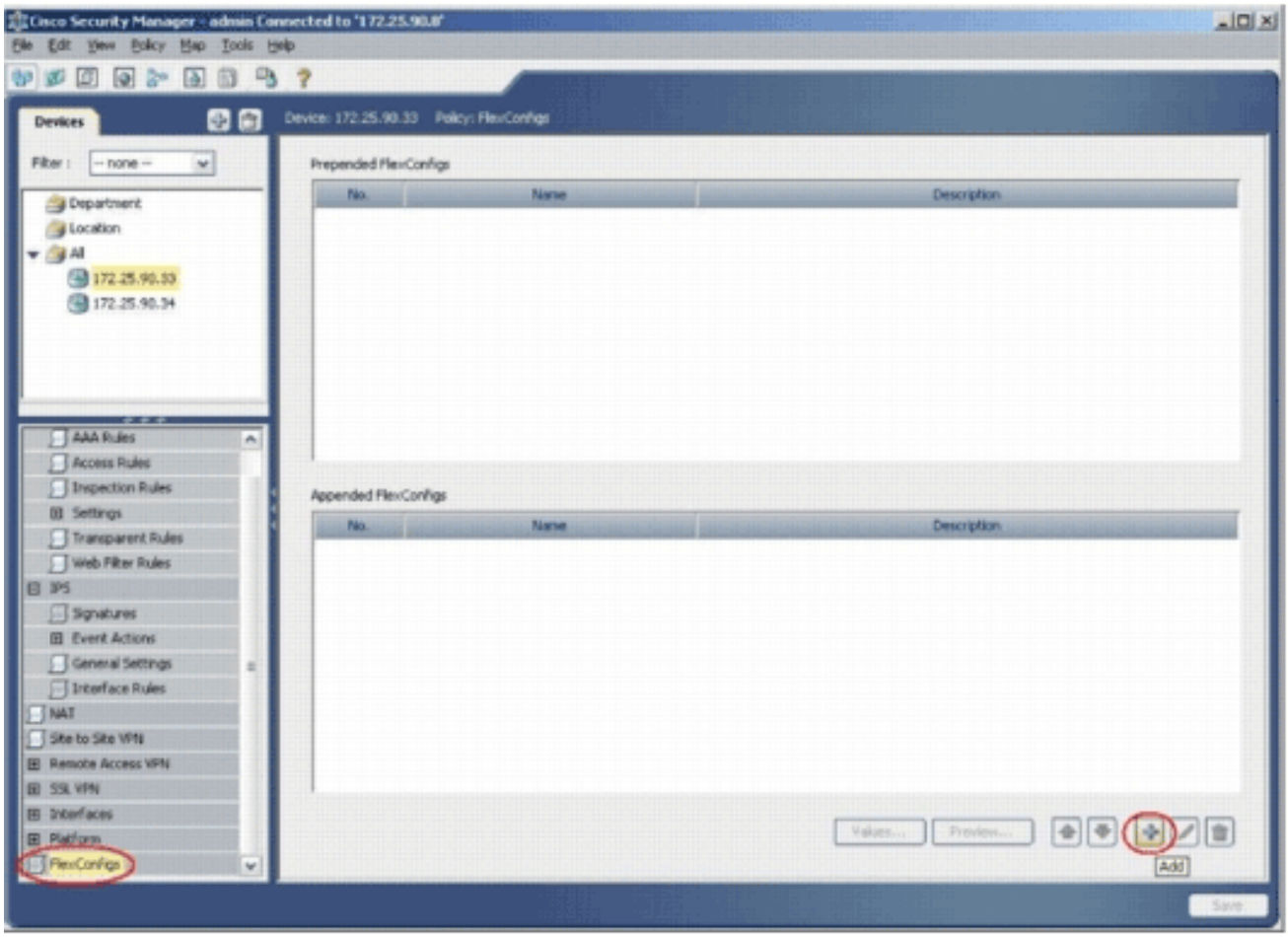
6. [next] をクリックします。
7. 追加するIOSルータのユーザ名、パスワード、イネーブルパスワードなどのプライマリクレデンシャルを入力します。
8. [**Finish**]をクリックして、Cisco Security Managerにデバイスを追加します。**注：この例**では、ユーザがすでに設定済みのルータを持ち、適切なクレデンシャルでルータにログインできることを前提としています。



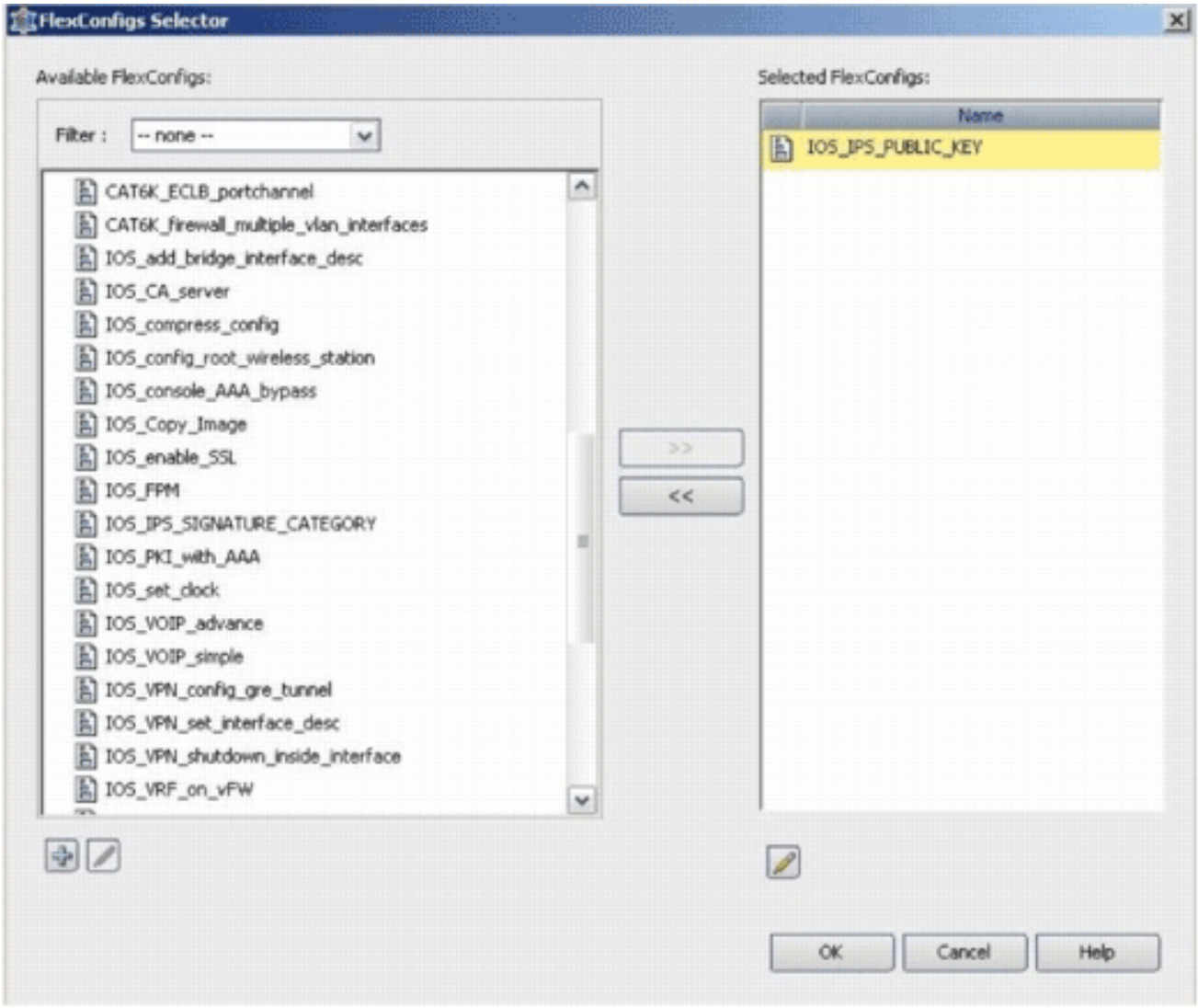
[Discovery Status]ウィンドウに[Discovery completed]と表示されたら、Cisco Security Managerにデバイスを正常に追加しました。Cisco Security Managerにデバイスを正常に追加したら、IPSを有効にするために公開キーを割り当てる必要があります。



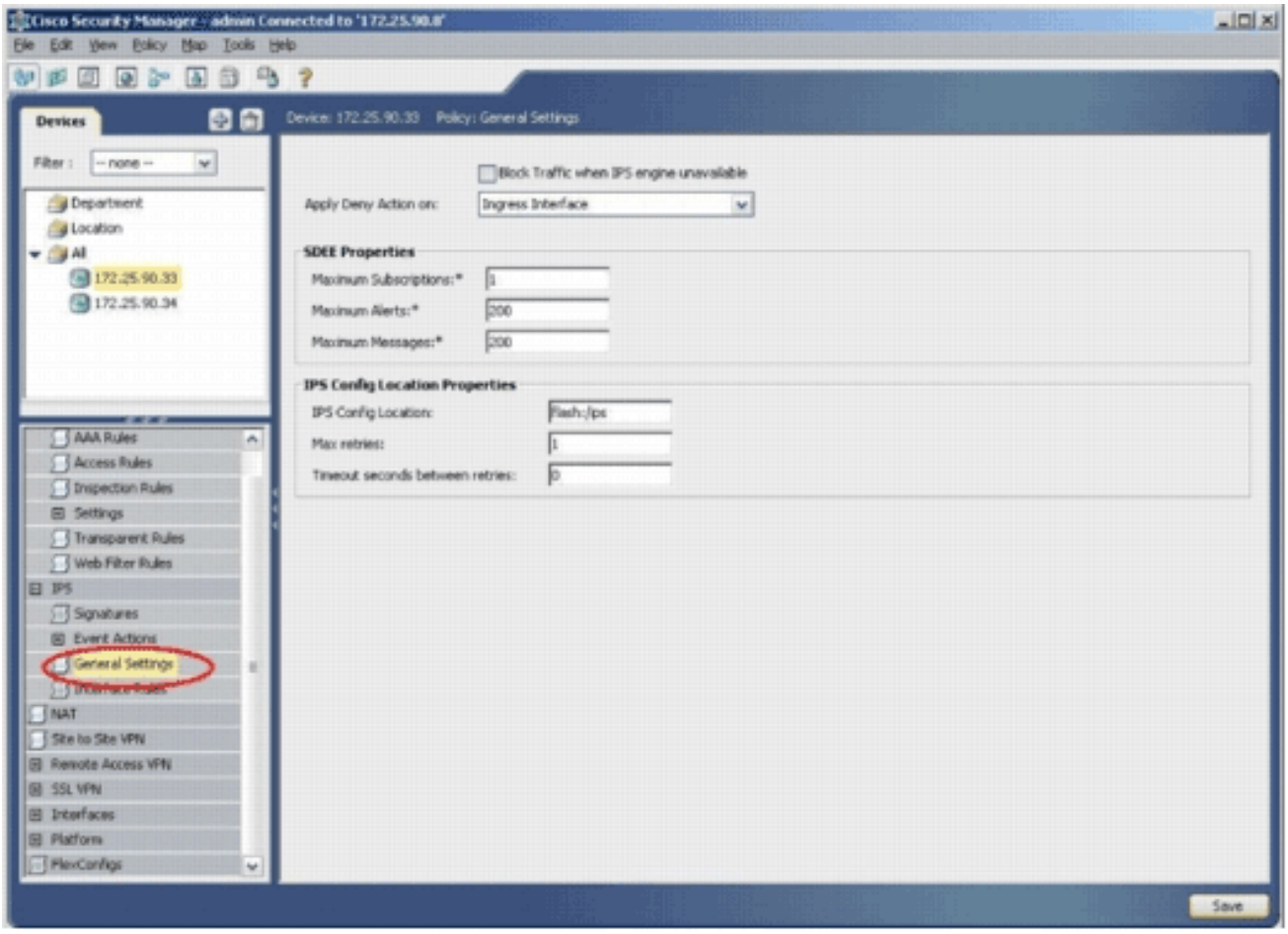
9. 左側のメニューから、[FlexConfigs configuration]画面に移動します。
10. 画面の右側にあるFlexConfigsユーザーインターフェイスをクリックし、[追加]アイコンを**クリック**します。



11. [Selected FlexConfigs]リストで、[IOS_IPS_PUBLIC_KEY]を選択し、[OK]をクリックします。

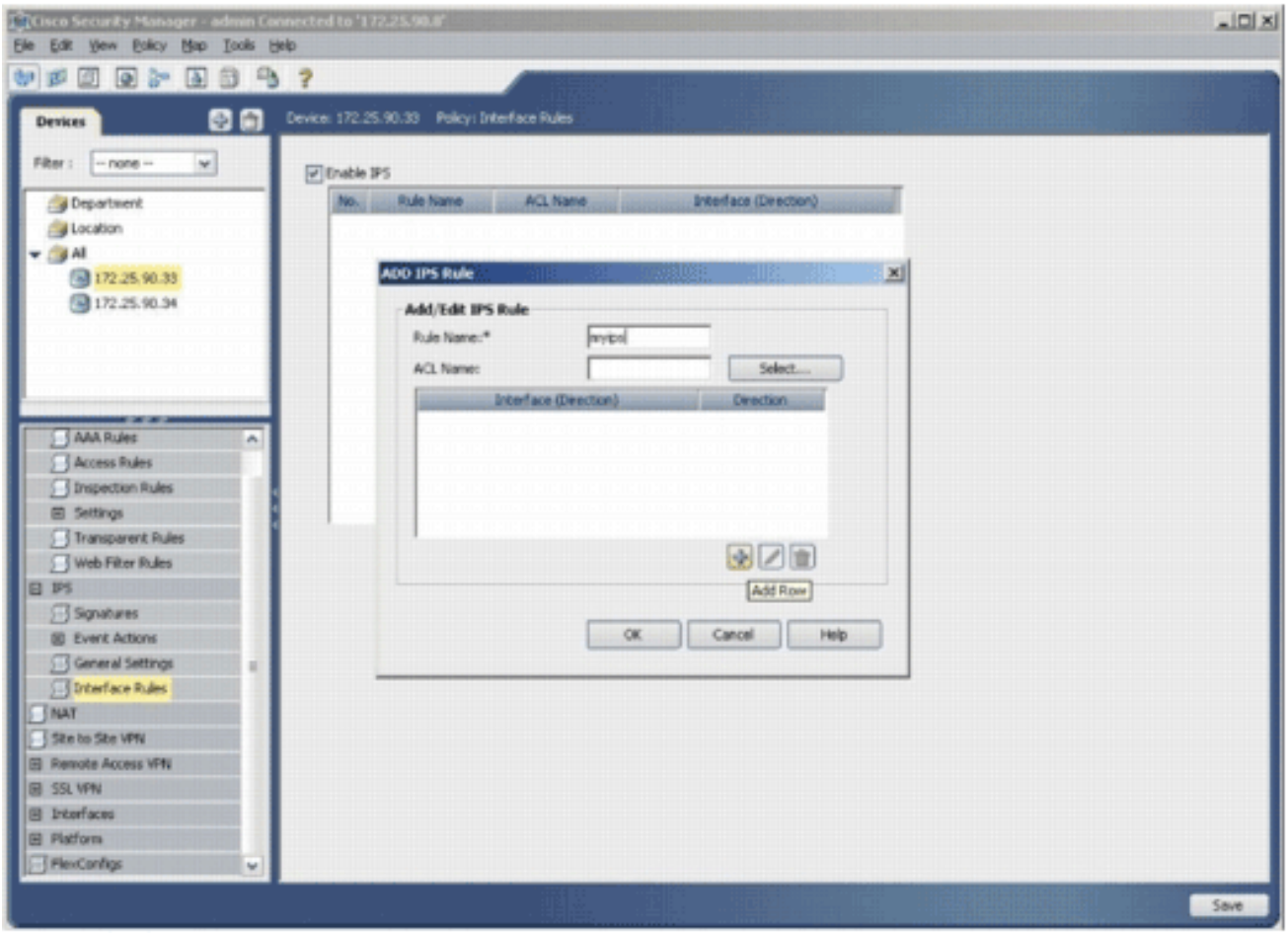


12. [Save] をクリックして変更を保存します。**注**：IOS_IPS_PUBLIC_KEY FlexConfigは公開キーの設定を保持します。
13. 左側のメニューから、IPSの見出しの下にある**General Settings**を選択します。
14. フラッシュ上のIPS設定の場所を入力します。これは、IPS設定が配置される場所です。
15. [Save] をクリックして変更を保存します。

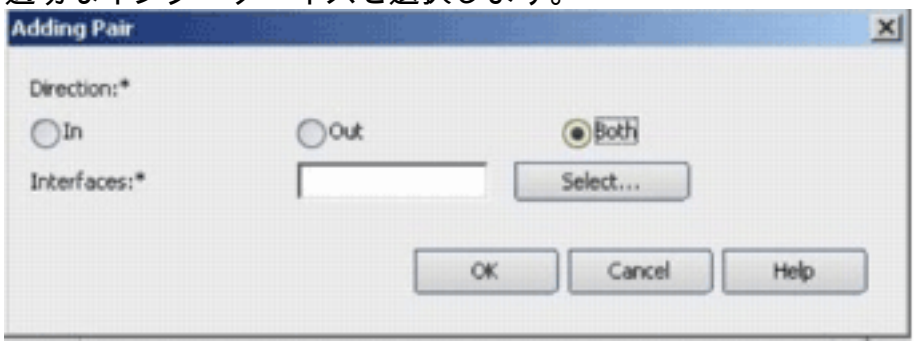


注：ロケーションディレクトリがルータフラッシュにすでに作成されていることを確認します。そうでない場合は、**mkdir <directory_name>コマンドを使用**して、ロケーションディレクトリを作成します。

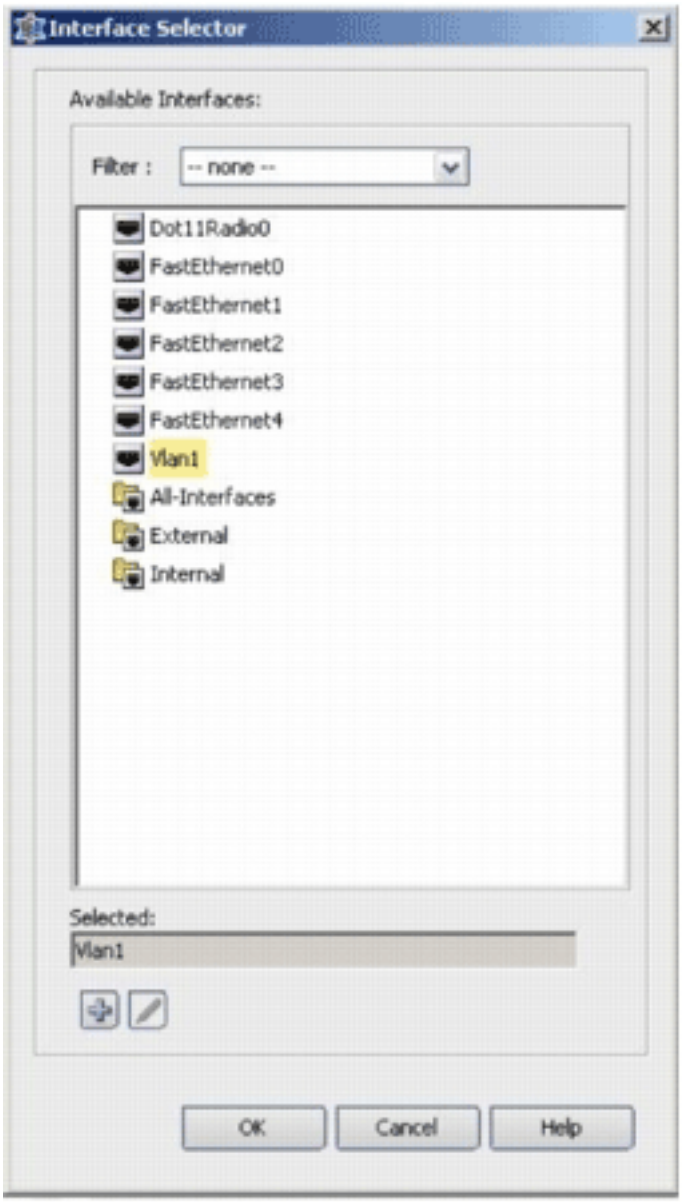
16. IPSを有効にするには、[Interface Rules]に移動し、[**Enable IPS**]チェックボックスをオンにして、[**Add Row**]をクリックします。
17. [Add IPS Rule]ダイアログボックスで、[Rule Name]フィールドにIPSルールの名前を入力し、[**Add Row**]をクリックして、IPSを適用する必要があるインターフェイスを含めます。



18. IPSルールを適用する方向を示すオプションボタンをクリックし、[Select]をクリックして適切なインターフェイスを選択します。

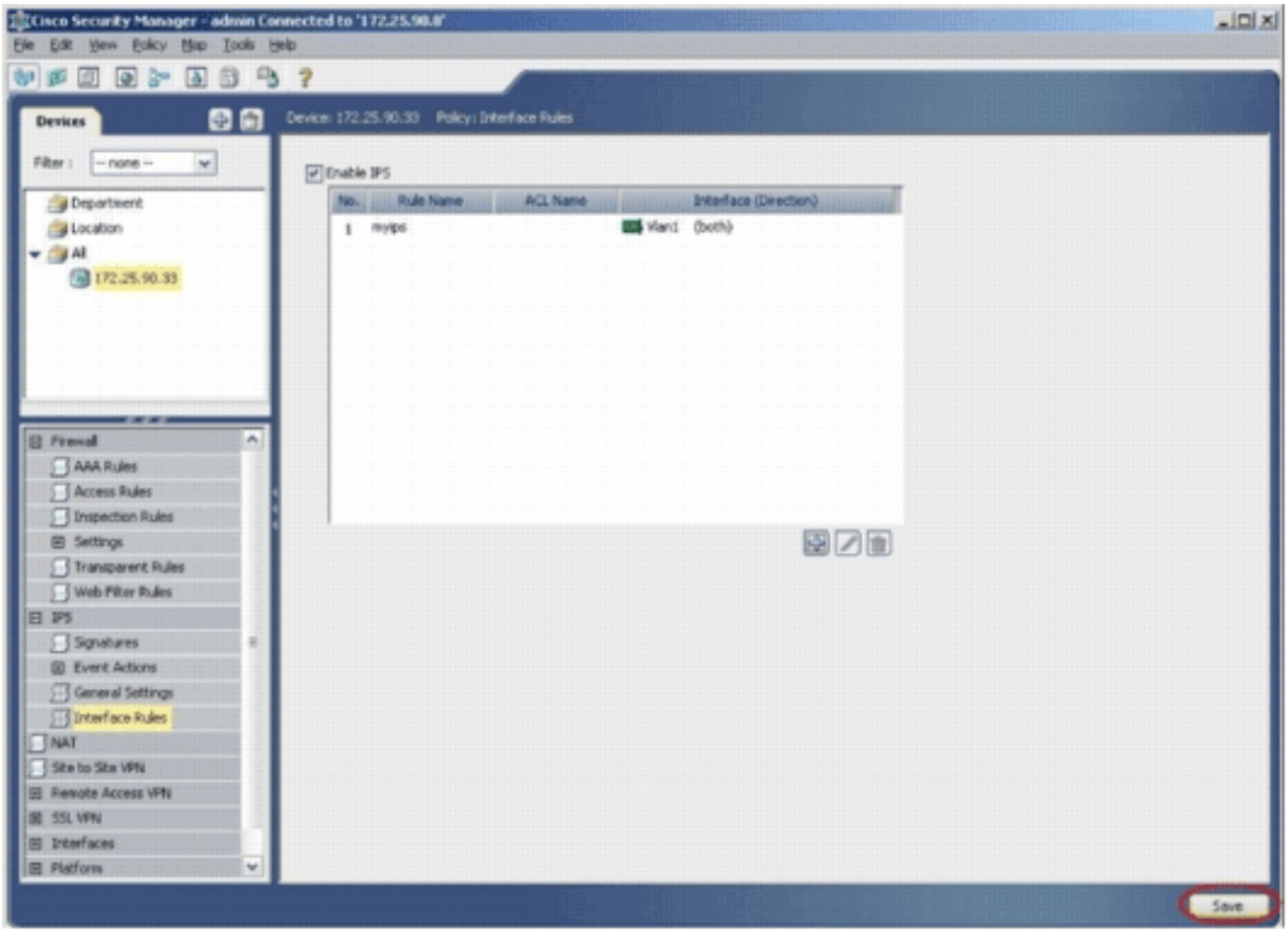


19. 「インタフェース・セレクタ」リストからインタフェースを選択し、「OK」をクリックし

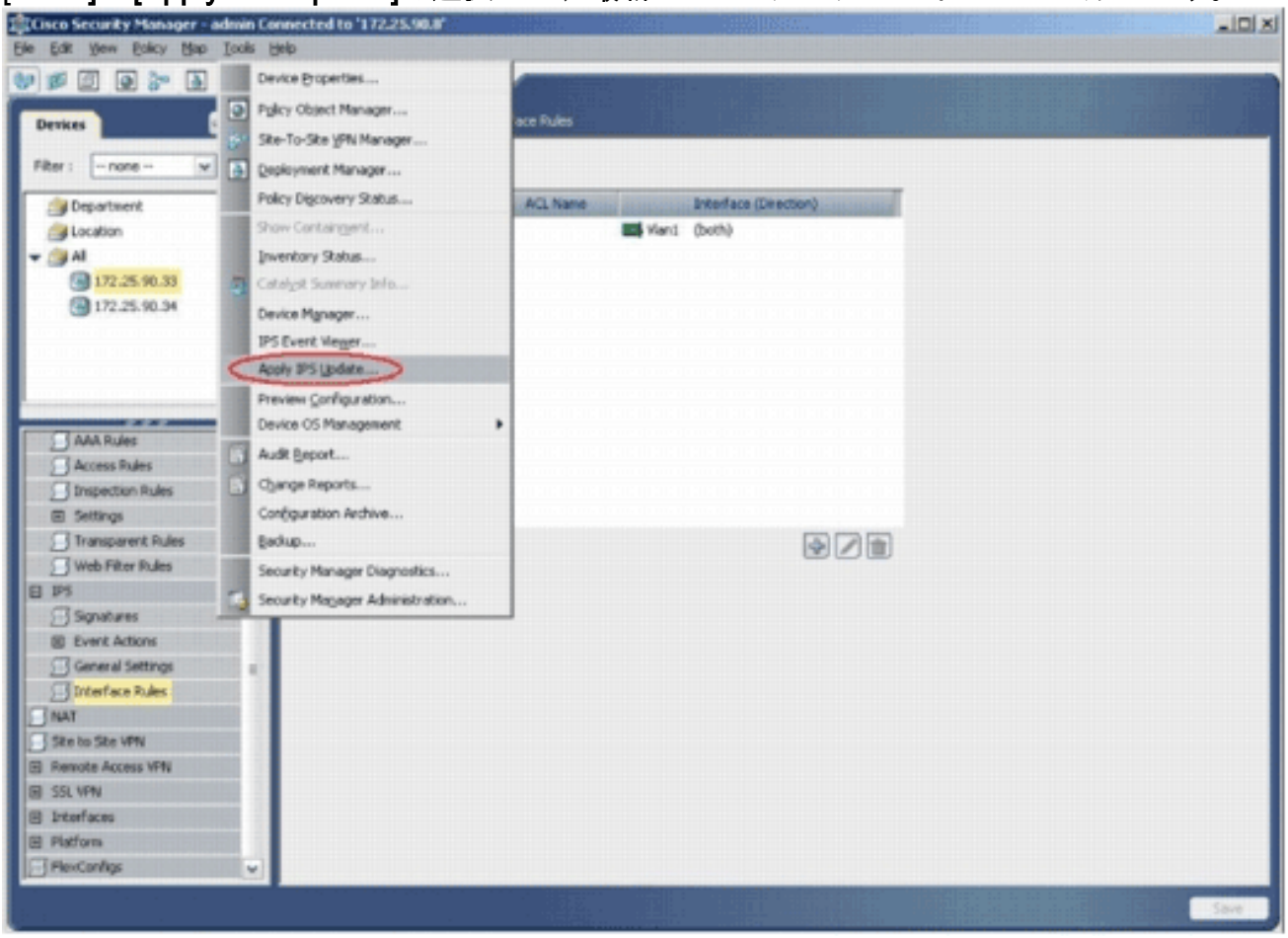


ます。

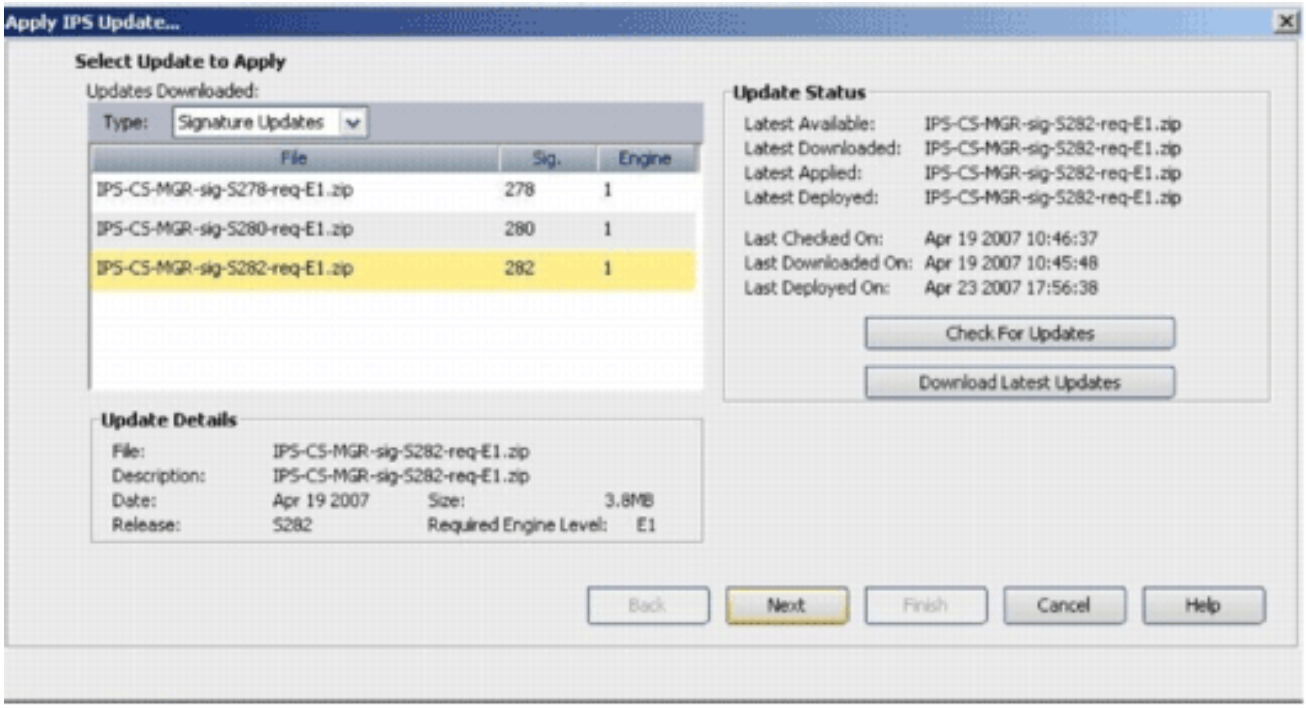
20. [Save] をクリックして変更を保存します。



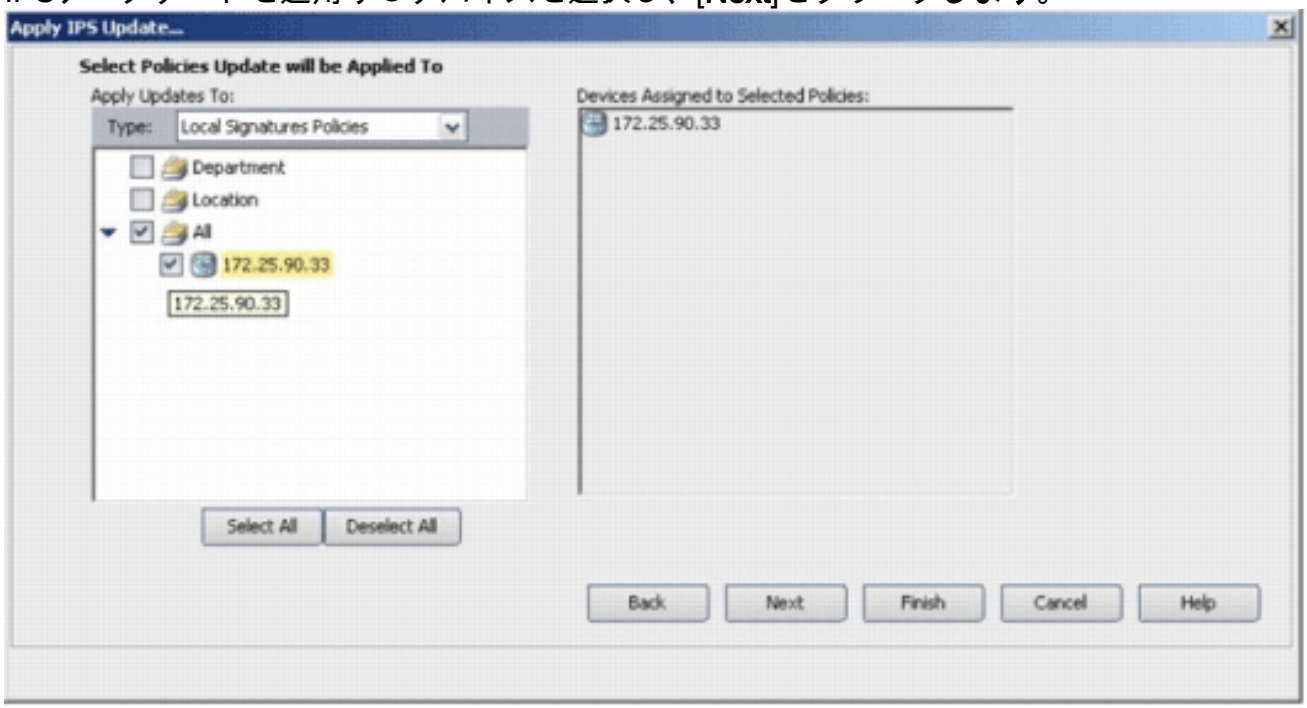
21. [Tools] > [Apply IPS Update]を選択して、最新のIPSシグニチャをインストールします。



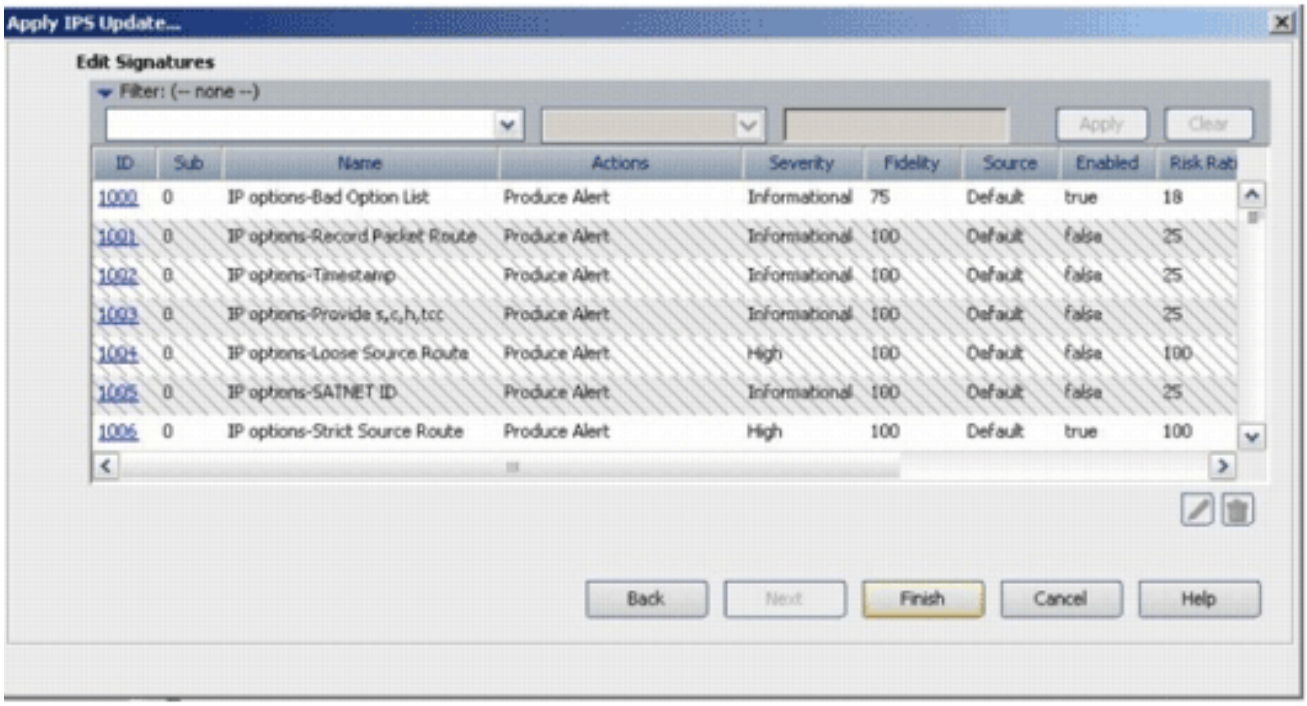
22. 最新の署名ファイルを選択し、[Next]をクリックします。



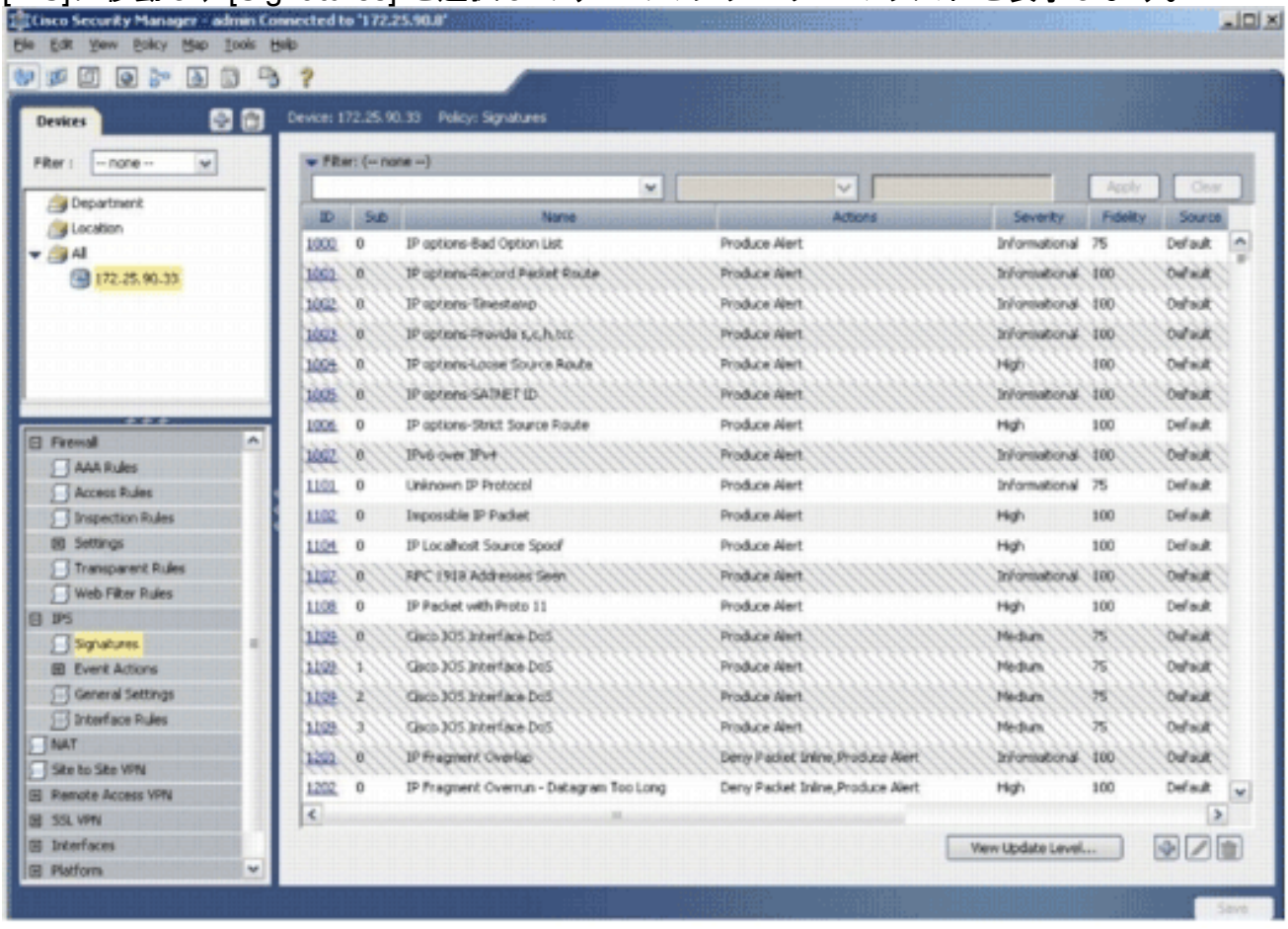
23. IPSアップデートを適用するデバイスを選択し、[Next]をクリックします。



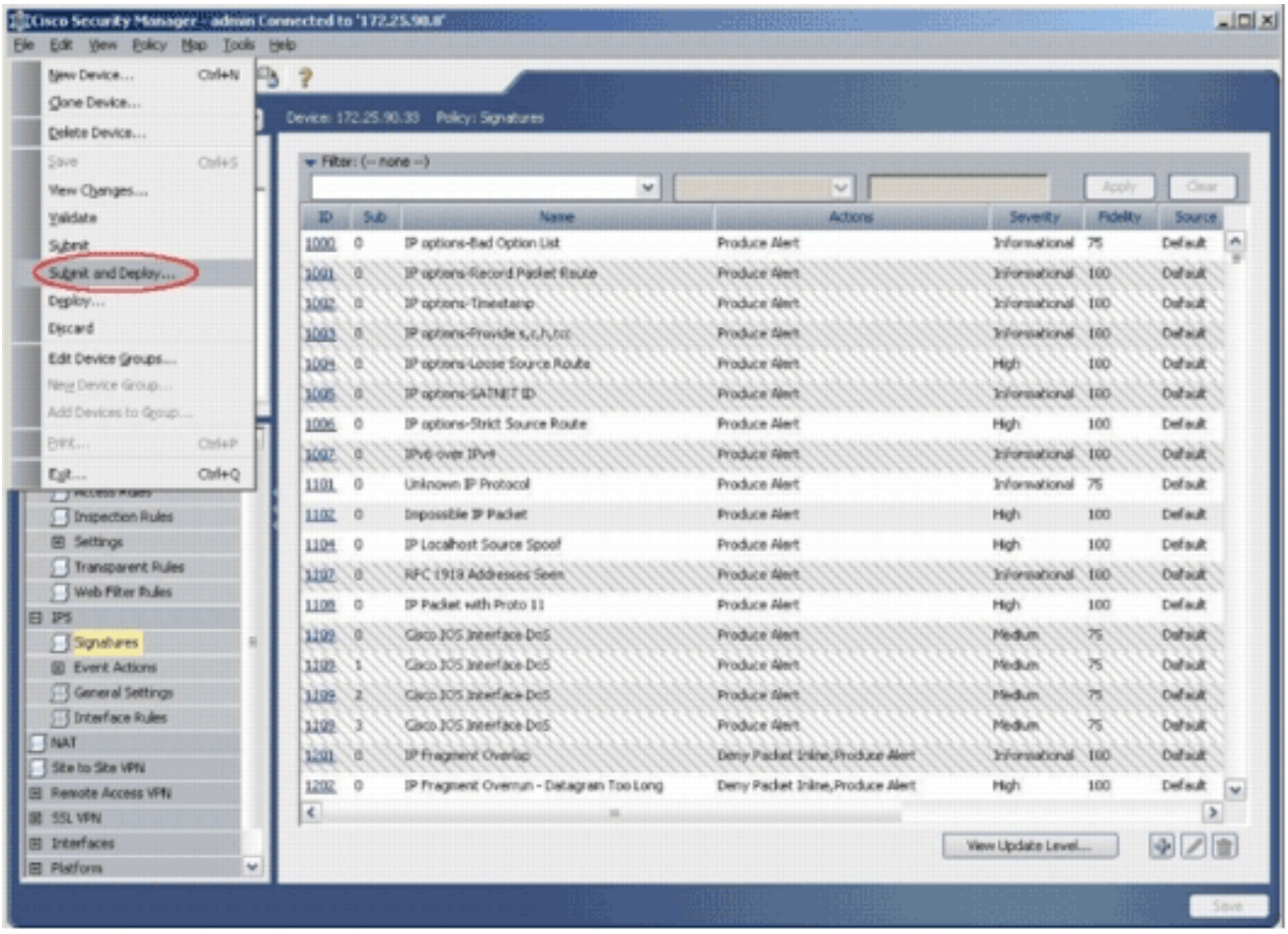
24. [Finish]をクリックして、シグニチャを適用します。



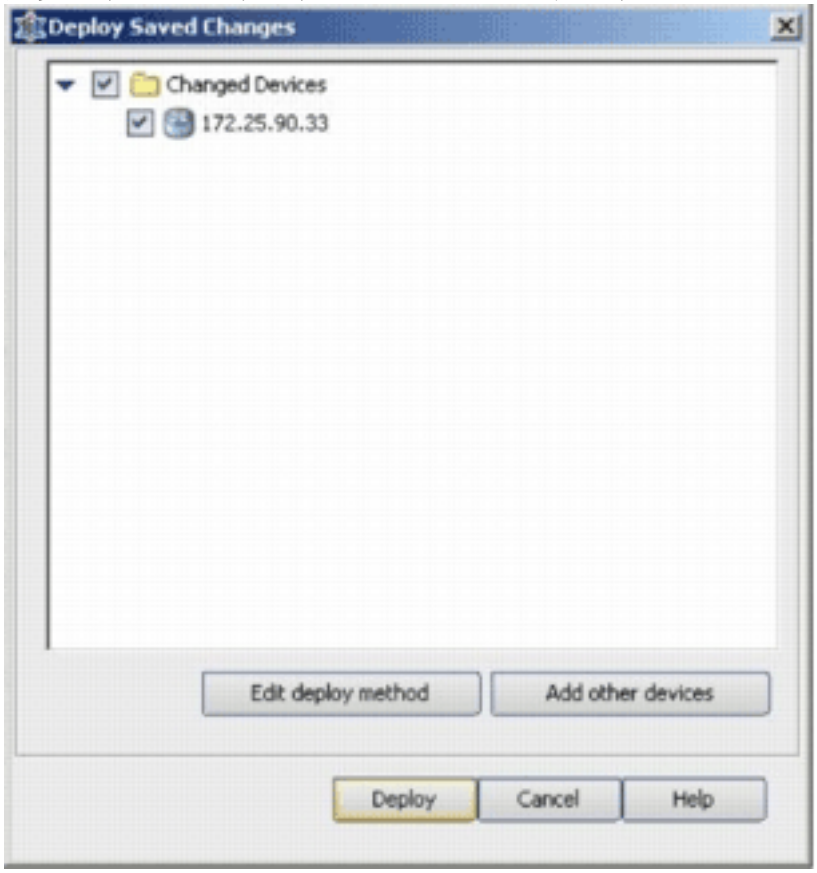
25. [IPS]に移動し、[Signatures] を選択してすべてのシグニチャのリストを表示します。



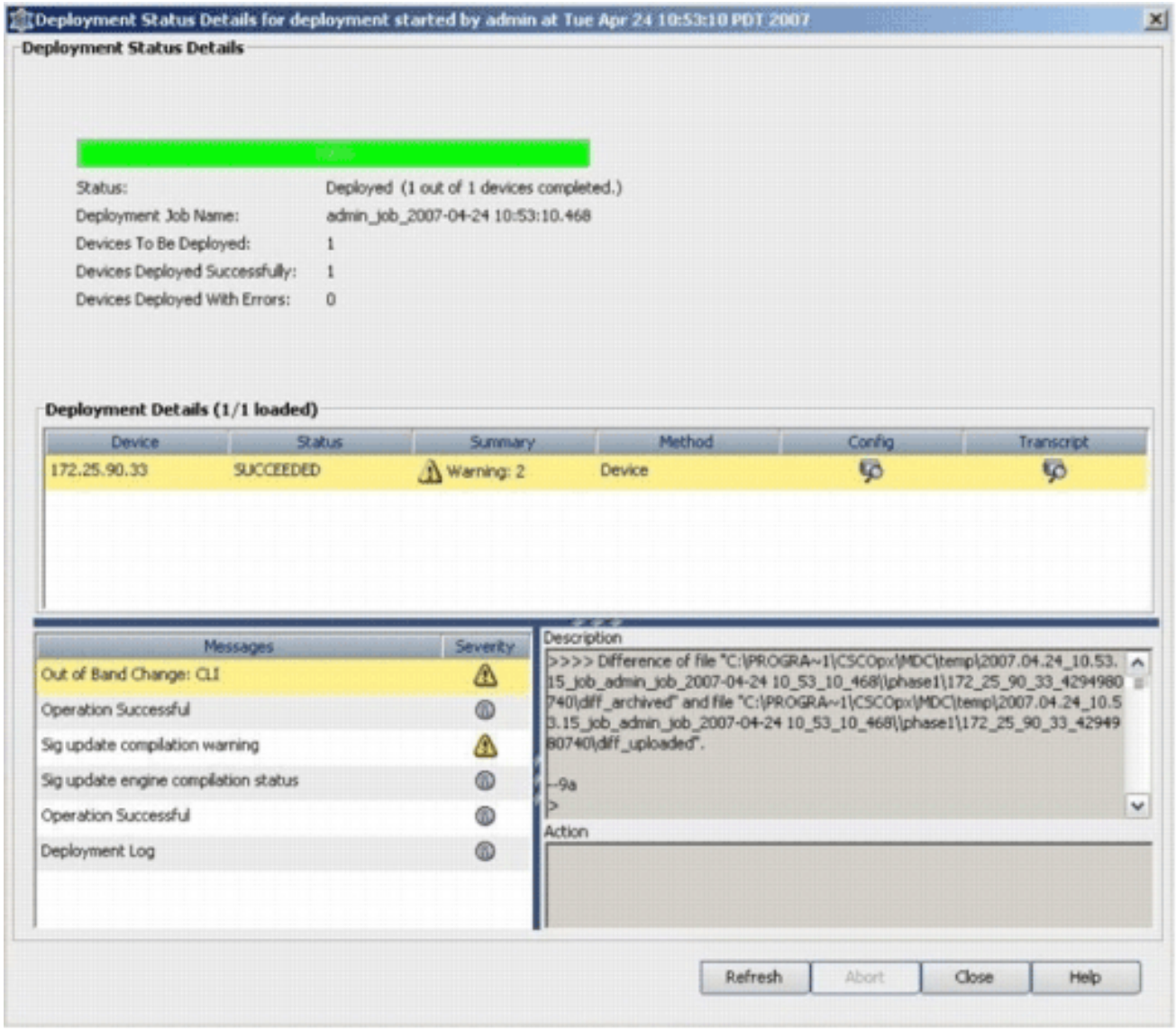
26. IOSルータにIPSを導入するには、**[File] > [Submit and Deploy]**の順に選択します。



27. 変更をデプロイするデバイスを選択し、「デプロイ」をクリックします。



28. 展開ステータスを表示して、エラーがあるかどうかを確認します。



関連情報

- Cisco IOS 侵入防御システム（IPS）製品 & サービス ページ
- 5.x シグニチャ形式を使用した Cisco IOS IPS の導入
- IPS 5.x シグニチャ形式のサポートおよびユーザビリティ拡張
- Cisco Intrusion Prevention System
- セキュリティ製品に関する Field Notices（CiscoSecure Intrusion Detection を含む）
- テクニカルサポート - Cisco Systems